

「協働事業」を調査・研究

テーマ型提案事業を研究

11月7日に滋賀県大津市を視察しました。

協働提案制度「テーマ型提案事業」について自治協働課より、平成23年の「結（ゆい）の古都」まちづくり推進条例の制定から、現在に至る経緯を含め、事業の成果や課題について学びました。

テーマは自由・指定の2種類があり、自由テーマは主に補助事業、指定テーマは委託事業となり、テーマの住み分けがはっきりしていました。

行政提案型協働事業を研究

11月8日に石川県野々市市を視察しました。

市民協働のまちづくり「行政提案型協働事業」について市民協働課より、テーマ決定方法、事業の成果や課題、スケジュール、事

業終了後の市民団体での継続性などを学びました。

担当者のコーディネート力により、協働事業終了後の継続についてアドバイスを行うなど、市民団体の底上げがされていきました。また、担当課が必要と判断した事業については予算計上を行っていました。

両市も事業所・企業や学校が、事業の幅や継続・発展性に大きく寄与していると感じました。

武豊町の提案型協働事業の今後について検討するための学びとなりました。



■野々市市の視察風景

「障がい者福祉」を調査・研究

発達支援のあり方を研究

11月14日に滋賀県湖南市で取り組んでいる「発達支援システム」について視察しました。

乳幼児から就労までの支援体制を条例や規則で制度化し、療育手帳などの所持に関わらず、支援の必要な人に対する個別指導計画と個別支援移行計画による「縦の連携」と、教育・福祉・保健・就労・医療といった関係機関の「横の連携」を構築しています。

このシステムは国からも高い評価を得ており、武豊らしい発達支援のあり方を考える機会になりました。

今後の福祉施設を研究

11月15日に福井県あわら市の社会福祉法人「ハスの実の家」で障がい者自立支援事業を視察しました。

「ハスの実の家」は、労働や生活・社会参加を支援する事業を展開し、利用者

は約100人になります。

障がい者の就労するパン工場のパンは無農薬・減農薬で地元でも人気があり、ほかにも農園や食品加工、生活介護事業など多種にわたっています。

農園で収穫した野菜は、パン工房や施設の昼食で消費しています。

行政に頼らず地域と密接な関係で運営している点など、今後の福祉施設を研究する機会となりました。



■あわら市のパン工房視察風景